

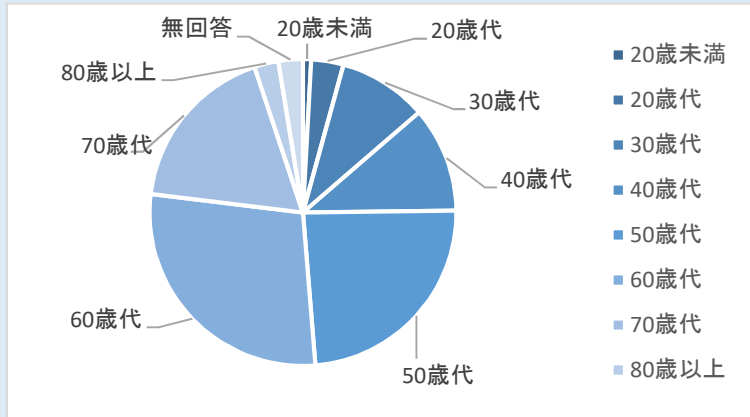
# 沖縄県議会 傍聴者アンケート結果(令和6年2月定例会)

○会期	令和6年第1回定例会
○本会議及び委員会傍聴人数	計198人
○アンケート回答人数	117 回答率 59%

## <各アンケート項目の結果>

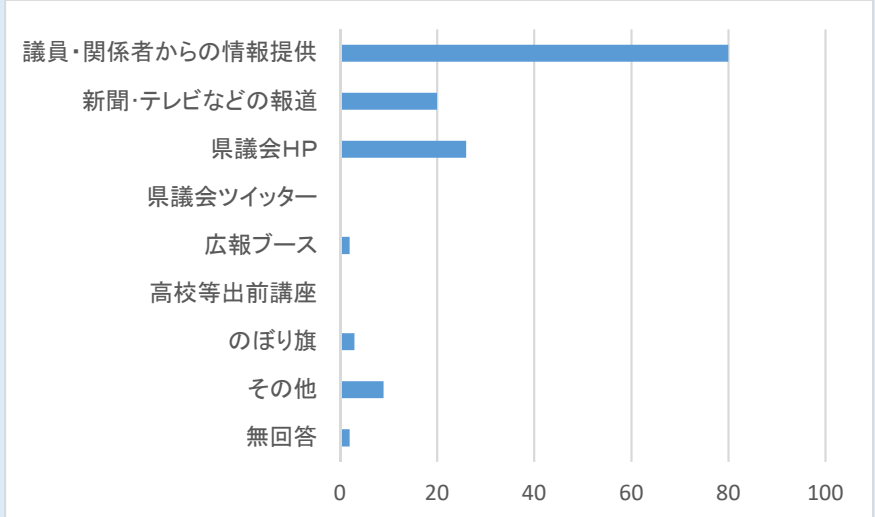
Q1年齢を教えてください。

選択項目	人数	比率
20歳未満	1	0.9%
20歳代	4	3.4%
30歳代	11	9.4%
40歳代	13	11.1%
50歳代	28	23.9%
60歳代	33	28.2%
70歳代	21	17.9%
80歳以上	3	2.6%
無回答	3	2.6%
計	117	100%



Q2本日は、本会議・委員会が開かれることを何で知りましたか。(※複数回答可)

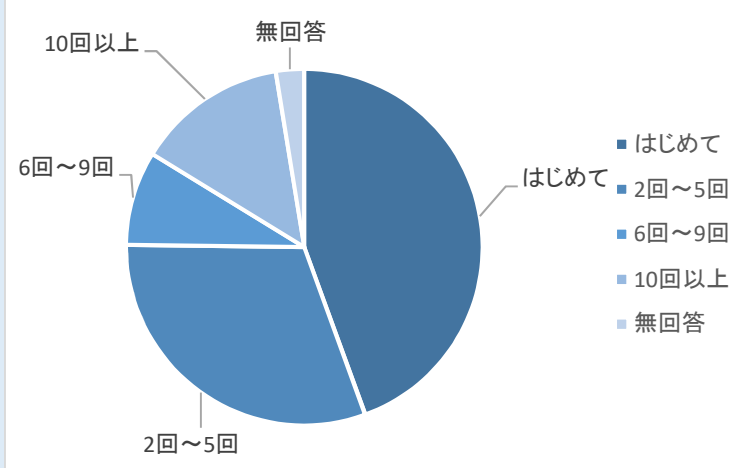
選択項目	人数
議員・関係者からの情報提供	80
新聞・テレビなどの報道	20
県議会HP	26
県議会ツイッター	0
広報ブース	2
高校等出前講座	0
のぼり旗	3
その他	9
無回答	2
計	142



- ・ 庁舎
- ・ 県庁舎ロビーモニター

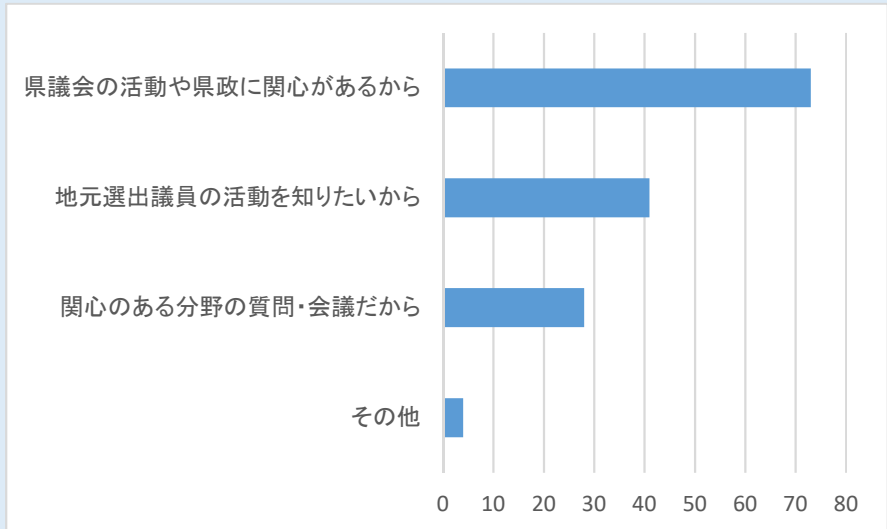
Q3沖縄県議会への傍聴は何回目ですか。(本会議・委員会合計で)

選択項目	人数	比率
はじめて	52	44.4%
2回～5回	36	30.8%
6回～9回	10	8.5%
10回以上	16	13.7%
無回答	3	2.6%
計	117	100.0%



Q4傍聴に来られた目的は何ですか。(※複数回答あり)

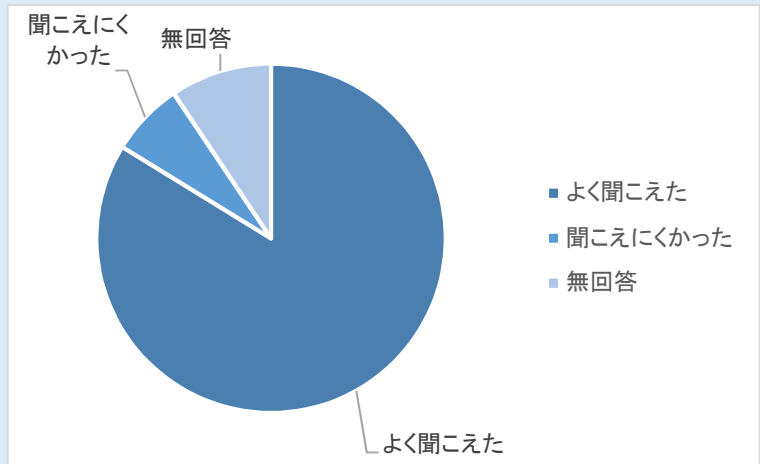
選択項目	人数
県議会の活動や県政に関心があるから	73
地元選出議員の活動を知りたいから	41
関心のある分野の質問・会議だから	28
その他	4
無回答	3
計	149



・ 陳情に対するの答弁。

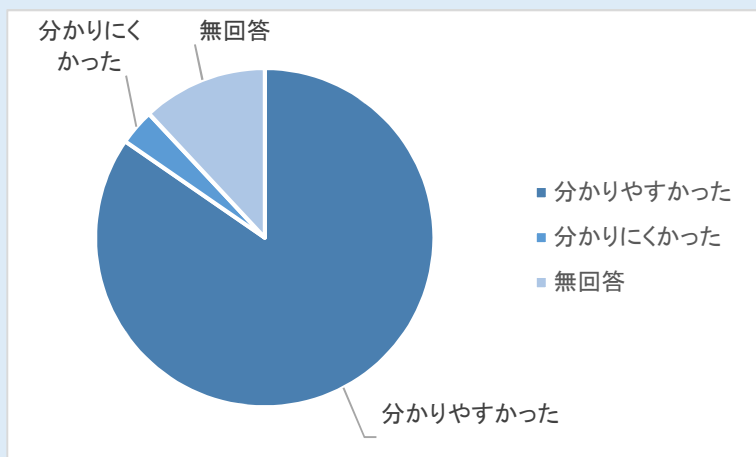
Q5質問や答弁はよく聞こえましたか。

選択項目	人数	比率
よく聞こえた	98	83.8%
聞こえにくかった	8	6.8%
無回答	11	9.4%
計	117	100.0%



Q6議員の質問内容はわかりやすかったですか。

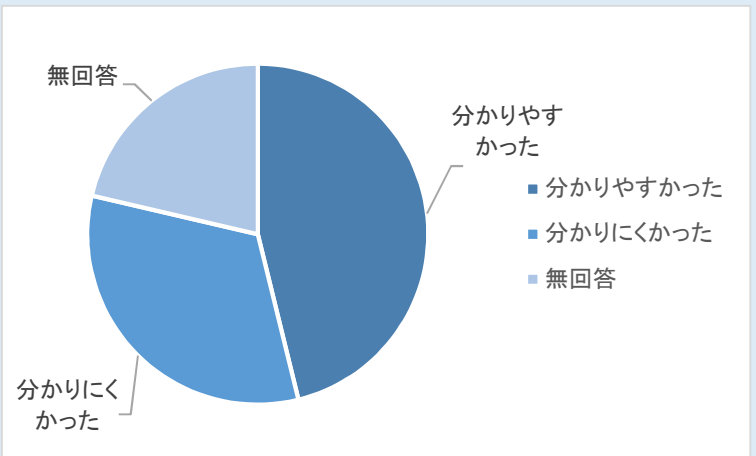
選択項目	人数	比率
わかりやすかった	99	84.6%
わかりにくかった	4	3.4%
無回答	14	12.0%
計	117	100.0%



Q7知事・部長等の答弁内容はわかりやすかったですか。

選択項目	人数	比率
わかりやすかった	54	46.2%
わかりにくかった	38	32.5%
無回答	25	21.4%
計	117	100.0%

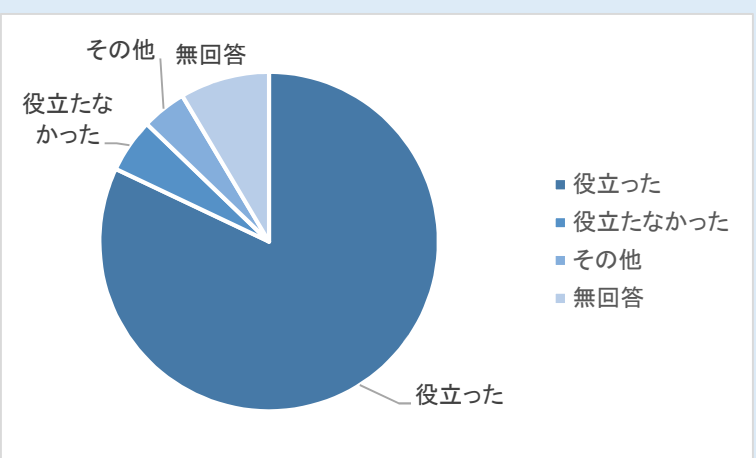
- ・ 通り一遍の回答をする。伝わってこない。
- ・ 声が小さかったり、早口だったり。
- ・ 関係部長はわかりやすかった。



Q8配付資料は、議員の質問や知事・部長等の答弁の内容を理解するのに役立ちましたか。

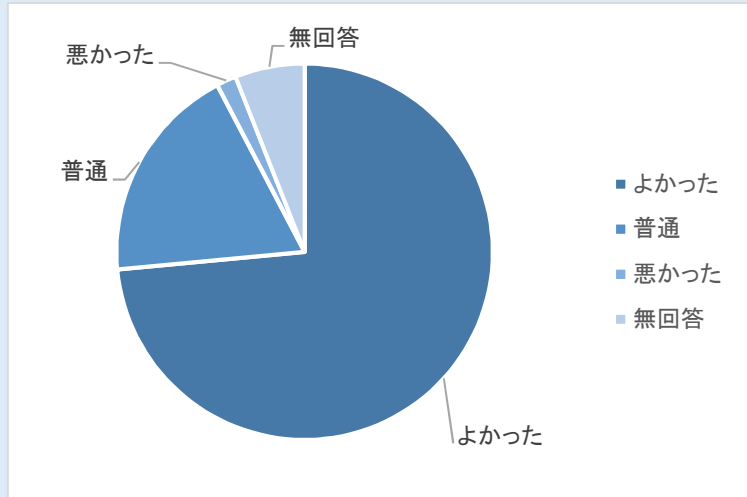
選択項目	人数	比率
役立った	96	82.1%
役立たなかった	6	5.1%
その他	5	4.3%
無回答	10	8.5%
計	117	100.0%

- ・ 資料が少ない。



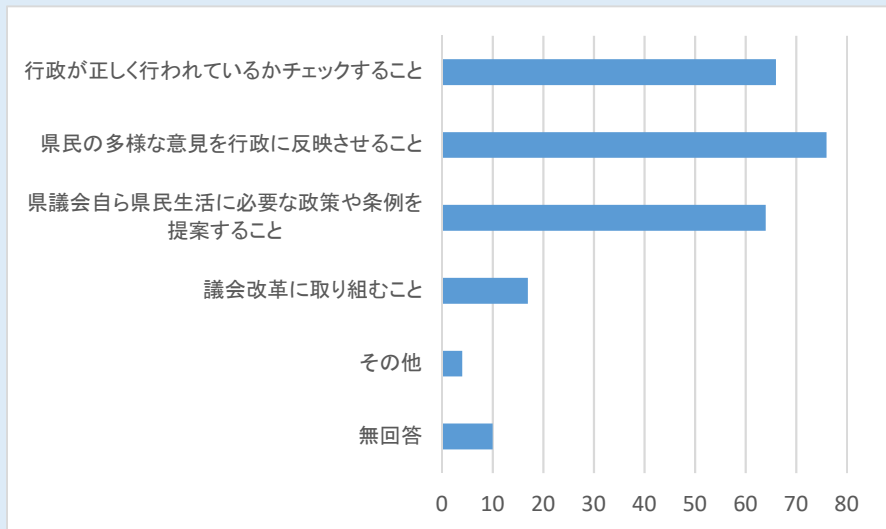
Q9傍聴受付など議会事務局職員・警備員の対応はどうでしたか。

選択項目	人数	比率
よかった	86	73.5%
普通	22	18.8%
悪かった	2	1.7%
無回答	7	6.0%
計	117	100.0%



Q10県議会に期待することは何ですか。(複数回答可)

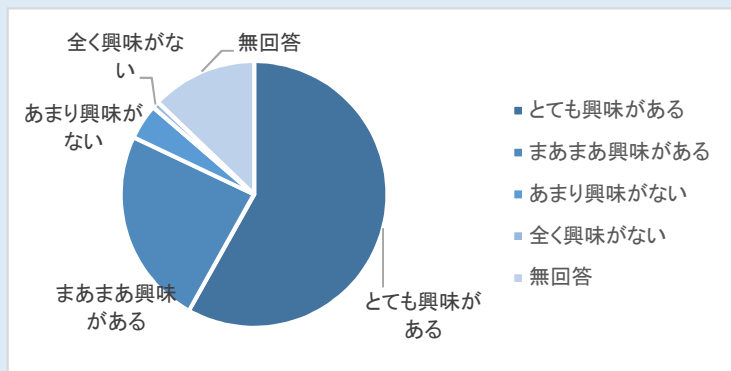
選択項目	人数
行政が正しく行われているかチェックすること	66
県民の多様な意見を行政に反映させること	76
県議会自ら県民生活に必要な政策や条例を提案すること	64
議会改革に取り組むこと	17
その他	4
無回答	10
計	237



- ・ なって終わりではなく、議員になって何をなすのが大事。何をなしたいのか。
- ・ 平和になるよう。

Q11県議会や県議会議員の活動に興味がありますか。

選択項目	人数	比率
とても興味がある	68	58.1%
まあまあ興味がある	28	23.9%
あまり興味がない	5	4.3%
全く興味がない	1	0.9%
無回答	15	12.8%
計	117	100.0%

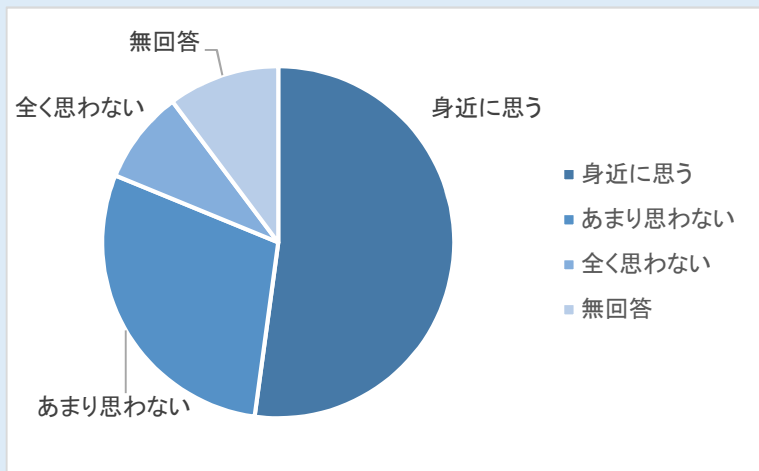


- ・ 県民の生活を行政に反映させて欲しい。生活に直結する。
- ・ 私たちの税金がどのように使われているか。活動に興味がある。
- ・ 県議会での議題内容進行性に期待している。

Q12 県議会議員は身近な存在ですか。

選択項目	人数	比率
身近に思う	61	52.1%
あまり思わない	34	29.1%
全く思わない	10	8.5%
無回答	12	10.3%
計	117	100.0%

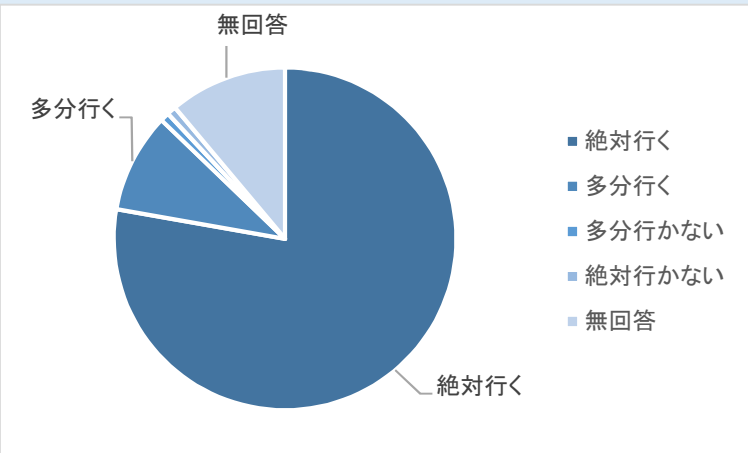
- ・ 我々の声を聞いてくれる。
- ・ 生活の課題、問題解決のため相談しやすい存在であって欲しいと考える。
- ・ あまり接点がない。



Q13, 2024年6月、沖縄県議会議員の選挙が行われます。あなたは投票に行こうと思いますか。

選択項目	人数	比率
絶対行く	91	77.8%
多分行く	11	9.4%
多分行かない	1	0.9%
絶対行かない	1	0.9%
無回答	13	11.1%
計	117	100.0%

- ・ しっかり活動してくれる人が議員になって欲しい。
- ・ 地域の課題解決のために選出議員に期待する。  
現在の沖縄県を変えて欲しい。



## 傍聴者の皆様からいただいた御意見・御要望に対する回答 (令和6年第1回議会：2月定例会)

貴重な御意見・御要望、誠にありがとうございます。

傍聴者の皆様からお寄せいただいた主な御意見・御要望について、次のとおり回答いたします。

### 1 議員に関すること

#### <議会活動・議員活動全般>

- ① 議員になって終わるのではなく、何ができるのか考えてほしい。もしやる気がないのなら、せめてビジョンがあってやる気のある人の邪魔はしないで。
- ② 県民の生活を行政に反映させてほしい。生活に直結する。
- ③ 私たちの税金がどのように使われているか。活動に興味がある。
- ④ 生活の課題、問題解決のため相談しやすい存在であってほしいと考える。
- ⑤ しっかり活動してくれる人が議員になってほしい。
- ⑥ 地域の課題解決のために選出議員に期待する。
- ⑦ 現在の沖縄県を変えてほしい。
- ⑧ 党利党略ばかりで大局観を持った政治家がいないことを痛感する。
- ⑨ 安全・安心の県政を支えるよう議会のより厳しいチェックを期待します。今後、国内外ともに厳しくなっていくと思うので保革協力して対処してほしい。
- ⑩ 県民に寄り添う、県民のために努力してほしい。
- ⑪ 県議会議員と市町村議員の違いは何ですか。議員の一人一人の自覚を知りたいです。沖縄の行く末は皆様の責任であると考えます。
- ⑫ 健康第一で「県民のため」にがんばってください。
- ⑬ 県民のために頑張ってください。

#### <本会議>

- ⑭ 辺野古基金について県議会で質疑されるのはおかしいと思います。前回もあったのに再び出した。国に問うべき質疑があり（あえてしているのかも知れないが）事前の練り合わせはしないのですか。
- ⑮ 沖縄科学技術大学院大学のことを提言してくださりありがとうございました。あれだけの予算を占めているのに、この沖縄に益する何をどれだけやってきたのでしょうか。これからもこの件は見張ってください。  
今回は質疑応答が冷静に聞けました。これが本来の在り方ではと思いました。
- ⑯ 教育について今まで以上に考えていただきたいです。心豊かな子ども

たちが育てば豊かな沖縄県になると思います。

- ⑰ 一部議員の席しか見えなかったが、ある議員は全く議会に集中せず携帯いじり、タブレットで顔写真をスクロールしていたりと最悪な態度を見てしまった。
- ⑱ デニー県政はもう終わりにしてほしい。約束も守れない人が沖縄県民のリーダーとしては向いていないと思う。絶対に替えるべきだと思う。
- ⑲ 現在今帰仁村でジャングリアの大型テーマパークが建設され、伊豆味地域での交通渋滞が心配されています。それを少しでも緩和するために伊江島空港を利用することが必要になると思い、県議会の協力をお願いします。
- ⑳ 沖縄県の振興・発展のためにしっかりと議論してほしい。
- ㉑ 沖縄県の将来的な展望の議論が必要。
- ㉒ 建設的な議論をお願いしたい。
- ㉓ 言葉使いに注意してほしい。代表ですから県民の賛否両論の代表者ですよ。
- ㉔ 先住民族、国連勧告撤回決議、与党は反対討論せよ。

#### <委員会>

- ㉕ 社会的かつ重要な課題が山積みしております（農家の生き残り、離島対策等）。内容が複雑かつ高度な事項が多いので、単発的な質問・回答ではなく、継続的な審議を切にお願いします。

いただいた御意見・御要望は、議長をはじめ、全議員に周知してまいります。  
(議事課議事運営班)

## 2 議会事務局に関すること

#### <本会議>

(本会議場の音響について)

- ① もう少しマイク等、音響をよくしてほしい。

(カメラの設置について)

- ② 議員席も中継できるようにカメラを配置して中継してほしい。

(休憩時間について)

- ③ 労力を費やして傍聴に来たものの、長い休憩に待ちくたびれて気分が悪くなりました。もう少し能率的に運営してください。

(議事進行について)

- ④ 議員の質疑で一問一答を止めすぎる。そういうものでしょうか。

(傍聴時のスマートフォンについて)

- ⑤ スマホにて資料の閲覧、漢字などの確認をしたいのですが、警備の方が何度も通るので使いづらい。

#### <議会広報>

- ⑥ 議会期間中の審議内容を詳細に新聞等で報道してもらいたい。

#### ①について

傍聴当日は、音響がよくなかったとのことで御不便をおかけしました。マイクの音量は、発言者の声量も考慮してその都度調整しているところですが、一定程度以上に音量を大きくするとハウリングを起こすため、現時点では対応できない場面もございます。

音響設備の改修については、議場改修が必要となり、予算も伴うためすぐには対応できませんが、今後改修等を行う際の貴重な御意見として承ります。  
(議事課議事運営班及び総務課総務班)

#### ②について

カメラの設置については、議場改修が必要となり、予算も伴うためすぐには対応できませんが、今後改修等を行う際の貴重な御意見として承ります。  
(議事課議事運営班及び総務課総務班)

#### ③について

御意見をいただいた傍聴者様が傍聴した当日の会議については、いわゆる空転など長時間の休憩はなかったことから、昼休みの休憩または午後の20分間の休憩が長かったことに対する意見であると承知しております。

待ちくたびれて気分を悪くされたことについては、大変申し訳なく思っておりますが、沖縄県議会では、2時間の会議時間ごとに休憩を挟むことを慣例としており、お昼は正午からおおむね午後1時20分まで、午後の休憩はおおむね20分間取ることであります。これは、会議出席者の心身の健康を保持するため必要な時間であると考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。  
(議事課議事運営班)

#### ④について

御意見ありがとうございます。

代表・一般質問中の議長の休憩宣告ですが、これは議長の議事整理権に基づくものであることから、議員や執行部からの休憩要求のほか、議



長の判断により適宜宣告されます。

沖縄県議会では代表・一般質問において、議員の質問時間とは別に往復時間（議員の質問と執行部の答弁時間の合計時間）を設けており、往復時間は、議長の休憩宣告以外は常に進行しております。

現在の議長は、往復時間も議員の質問権に付随する大切な時間だと考えており、執行部の答弁調整や資料の確認等で時間がかかりそうだと判断した場合、議長は適宜休憩を宣告しております。他の議会ではそのまま往復時間を進行させるところもあると承知しておりますが、沖縄県議会では、現在、上記のとおり取り扱っておりますので御了承ください。

（議事課議事運営班）

#### ⑤について

傍聴時のスマートフォンの使用については、「議会に関する資料、議員に関する情報等の閲覧・参照のため」であれば可能（使用条件としてマナーモード等音量をオフにして使用）となっており、守衛もその旨理解しておりますので、ご使用ください。

ただし傍聴時の通話、SNSへの投稿等の通信、写真撮影、動画撮影、録音は禁止されておりますので、傍聴中、スマートフォンを必要以上に操作していると、禁止行為を行っているおそれがあるとして守衛が確認することもありますので、その点は御留意ください。

（議事課議事運営班及び総務課総務班）

#### ⑥について

議会の会期中におきましては、県内新聞社等報道機関各社に対し、代表・一般質問を行う議員の質問日、質問順位及び質問内容を県議会のホームページに掲載したことをあらかじめ通知しておりますが、代表・一般質問の内容をどのように報道するかについては、報道機関各社がそれぞれで判断し行っている状況です。

（議事課議事運営班）

なお、沖縄県議会では、本会議及び委員会のインターネットによる生配信及び録画配信を行っております。

当該配信は、県議会ホームページから視聴可能となっており、「沖縄県議会 X（旧 Twitter アカウント）」や議会の広報ブースの設置を通し、周知しているところです。

引き続き、議会期間中の審議内容をより多くの方に知っていただけるよう努めてまいります。

（参考）<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/gikai/310327.html>

（政務調査課法制広報班）

### 3 知事部局等に関すること

#### <本会議>

- ① 通り一遍の回答をする。伝わってこない。
- ② 声が小さかったり、早口だったり。
- ③ 質問に対して具体的な（はっきりした）答弁が少なく、検討していく、進めていく等の答えが多かった。行政も多くの抱える課題解決に向け取り組んでいることも分かった。
- ④ 高齢者の実態調査、ぜひお願いします。
- ⑤ 教育について今まで以上に考えていただきたいです。心豊かな子どもたちが育てば豊かな沖縄県になると思います。
- ⑥ 沖縄県の振興・発展のためにしっかりと議論してほしい。
- ⑦ 玉城デニー知事は辺野古基地建設に反対以外の政策に残りの時間を使うべき。
- ⑧ 部長答弁の際のスピード、発音に注意を払っていただきたい。聞き取れない答弁がたまにあります。
- ⑨ 知事が答弁しなさすぎだと感じました。
- ⑩ 玉城知事は公約を守らず、基地を作らせない実現率の答弁もできず自覚がない。翁長前知事から公約継承の1丁目1番さえも答弁できなかった。
- ⑪ もっと具体的な返答、数字（何年度までに何%の改善を目標とするなど）返答してほしい。

#### <委員会>

- ⑫ 社会的かつ重要な課題が山積みしております（農家の生き残り、離島対策等）。内容が複雑かつ高度な事項が多いので、単発的な質問・回答ではなく、継続的な審議を切にお願いします。
- ⑬ 議員の質問は分かりやすかったが回答側は具体性がなく、あやふやになり見通しが立たない。

御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。いただいた御意見・御要望は、知事部局等に情報提供いたします。（議事課議事運営班）

#### 4 「県民ご意見箱」から

令和6年2月20日付で「県民ご意見箱」から以下の意見をいただきましたので、お答えいたします。

「県議会を聴講したが、現在の議会運営では沖縄の課題等が解決されるとは思えない。議会は住民の意思決定及び執行機関の監視する役割である。人口減少等の社会現象が顕在化する中で、今後は公務員の生産性を向上させる必要があり、県職員の議会に係る業務負担を軽減し、住民サービスを向上させる直接的な業務に時間をさいていく方向へ働き方改革をすべきであり、議員一人一人の考え方・議会の運営方法を見直す時期にきているのではないかと考える。

- 1 議員が一般質問・代表質問をする際、質問通告を読むだけで質問の背景や課題等を述べることなく質問している。議員が質問することは重要であるが、質問事項に対して最低限の背景や課題等は議場で述べるべきだと考える。議会での質問により、県職員は質問取りや想定問答など何十万円との人件費（税金）がかかっており、議員は責任をもって具体的及び質問の意図をしっかりと示して質問してほしい。

(答) 議員が質問を行うに際し、質問事項の背景や課題等を議場で述べることは、議場にいる会議出席者や傍聴者、インターネット等で議会中継を視聴している県民に向けて問題意識の共有を図ることができ、また問題提起や執行部への政策提言の理由を明確に示すことは「県民にとって分かりやすい議会」にも資することから、御指摘のとおりであると考えますので、議員に対して周知してまいりたいと考えております。

- 2 声を荒げて質問したり、個人の考えを押しついたり恫喝と受け止められるような発言をする場面が見受けられるため、控えてほしい。（議会中継を教育の場で見せれますか）

(答) 御指摘の点につきましては、定例会における傍聴者アンケートでも意見が出ており、その都度、議員に対し周知しているところです。今回につきましても、引き続き議員に対して周知してまいります。

- 3 一般質問の質問項目について、各議員は「我が党の代表質問との関連について」として質問をしているが、事前通告で詳細も分からず、県民に質問の内容が理解し難い。一般質問は会派に縛られずに質問すべきだと思うので廃止してほしい。他自治体の議会でもこのような質問のやり方が一般的なのか。

(答) 一般質問における「我が党（会派）の代表質問との関連について」は、所属会派の代表質問における議論を踏まえ、さらに議論を深めたい等の理由から行われるもので、本県議会においては復帰直後から実施されており、今日に至るまで毎定例会においてあらゆる会派の所属議員が質問を行い、本県議

会の先例として確立されております。

「我が党（会派）の代表質問との関連について」の存続・廃止を含めた議会における質問の在り方については、議会の自主性・自律性、議員の質問権の観点からそれぞれの議会において各会派・議員が議論し決定すべきものでありますが、現在のところ、そのような議論はございません。

- 4 地方議会では党や派閥による国会と比較し影響は限定的なものと考えられる。また、多様化している中マイノリティな意見や主張にも耳を傾けることが重要であることから、代表質問をなくしてもよいのではないか。

(答) 沖縄県議会における代表質問の実施につきましては、議会運営委員会決定により、「当初予算が提出される定例会及び議会運営委員会が行うことを決定した定例会において行う。」こととされており、当初予算が提出される2月定例会においては必ず実施され、6月、9月及び11月定例会においては、その都度議会運営委員会で協議・決定した上で実施しております。

代表質問実施の要否については、これまでも議会運営委員会で度々議論されているところであり、「毎定例会実施すべきである」との意見がある一方、「2月定例会のみの実施でよい」との意見もあるところですが、「議会を構成するそれぞれの会派の考え方に基づいて県行政を質す代表質問の機会は確保されるべき」という認識は一致しているところです。

- 5 沖縄県議会は、過去の議会録等を確認しても17時以降に閉会しており、議会閉会時間が遅くなると職員の働き方にも影響が出ることが想定される。議会に係る時間外手当の費用はどのくらいかかっているのか。（他自治体では15時頃に一般質問や委員会を閉会している）

(答) 議会に係る時間外手当の総額等につきましては、議会事務局で把握していないことから、「県民ご意見箱」の窓口であります知事公室広報課を通じて所管部局へ回答を依頼しております。

- 6 沖縄県議会の陳情・請願の採択状況について、他自治体の議会と比較しても継続審議が多く採択しない状況となっている。陳情や請願内容が解決するまで継続審議とするのは審議していないのと同じである。議員は陳情や請願を長らく審議するのではなくて、方向性が決定すれば採択することは重要な仕事のうちであるが、なぜ採択しないのか。

(答) 請願・陳情の採択基準につきましては、一般論として請願・陳情の願意について議会として賛同（妥当であると判断）できることや願意の実現可能性が高いことなどが挙げられますが、議会として執行部の対応状況を継続して確認していきたい等の理由により、委員会として継続審査を決定とすることがあります。

7 議会答弁における執行部は事実誤認の答弁はできず答弁書や想定問答の範囲でしか答弁できないと思う。事前答弁調整や想定問答等の資料作成に膨大な時間を費やすより、法的に難しい面があるがチャット形式で議会を実施した方が効率的であると考え。現在の対面式議会は非常に効率が悪いので今後を見据え新たな議会形式を検討すべきではないか。

(答) 御指摘の現在の議会形式を新たな形式に改めるためには、本県議会のみで行うことはできず、地方自治法など関係法令等を改正する必要があります。地方議会の在り方及び関係法令等の改正については、国の地方制度調査会や全国都道府県議会議長会等で議論されていることから、日頃から情報収集しているところですが、現時点において、チャット等新たな議会形式を検討することについて議論しているという情報はございません。

(以上、回答は全て議事課議事運営班)